

TLP:CLEAR

2024 年度  
第 3 四半期レポート

2025 年 1 月 31 日

一般社団法人 Japan Automotive ISAC

## 目 次

【第 1 章】 運営委員会からの活動報告.....	3
1. 24 年度第 3 四半期に入会いただいた新規会員.....	3
【第 2 章】 技術委員会からの活動報告.....	4
■ はじめに .....	4
1. 24 年度活動計画と実績報告 .....	5
2. 【トピック報告】 第 4 回活動報告会 Part 1（'24/12 月分） .....	6
【第 3 章】 サポートセンターからの活動報告 .....	8
1. 「サイバーセキュリティ診断」について .....	8
2. 「お困りごと相談室」を定期開催.....	11
3. ホームページの魅力度向上 .....	13
【第 4 章】 SOC（セキュリティオペレーションセンター）からの活動報告.....	14
1. 2024 年度 第 3 四半期の概要.....	14
2. 自動車メーカーに係る脅威・脆弱性情報.....	16
3. 脅威・脆弱性情報の攻撃対象分類 .....	16

## 【第1章】運営委員会からの活動報告

### 1. 24年度第3四半期に入会いただいた新規会員

#### 新規入会会員

- ・OEM 会員 株式会社小松製作所
- ・ブロンズ会員 ジェンテックス・ジャパン株式会社

※2024年12月31日時点の会員数 119社 + 学会会員 2名

#### 新規会員からの一言（株式会社小松製作所）

先行していると思われる自動車業界から勉強させていただきながら、業界の枠を超えて建機・自動車業界の発展とサイバーセキュリティ維持に貢献できるよう努力していきますので今後ともよろしく願いいたします。

以上

## 【第2章】技術委員会からの活動報告

### ■ はじめに

技術委員会では、24年度の活動計画に則ってWG/SWG活動を推進してきています。SWGは技術委員会傘下で11の活動をしていますが、それぞれの活動を進める中で出てきた課題の解決策と、活動の更なる充実と拡大に向けた施策を、引き続き「技術委員会 課題検討TF」で協議しています。

今回は、その施策の1つである第4回活動報告会 Part1を12月10日（火）に実施しているので、その様子を本章のトピックとして報告します。

現在までの技術委員会活動人員の推移を表1に示します。

表1 技術委員会活動人数の推移

委員会/WG/SWG	発足時点 (21.6月末)	定期総会 (22.6.24)	活動報告会 (23.5.31)	活動報告会 (24.1.16)	活動報告会 (24.5.31)	活動報告会 (2024.12.10)	前回比増減
<b>技術委員会</b>							
延べ参加人数	258	334	370	359	324	332	8
委員会活動参加企業数/会員企業総数	66/88	78/100	83/111	81/110	79/115	84/121	5/6
<b>情報共有WG</b>	115	128	121	111	102	105	3
インシデント対応事例検証SWG	47	47	43	34	33	31	(2)
脆弱性対応SWG	55	65	64	65	55	61	6
グローバル連携SWG	11	12	11	10	12	10	(2)
<b>スキルアップWG</b>	88	108	105	102	93	91	(2)
協同演習SWG	17	18	20	20	20	17	(3)
個別研修SWG	20	26	22	20	17	16	(1)
ベストプラクティス策定SWG	26	32	33	34	31	32	1
セキュリティ人材育成SWG	25	29	27	26	23	23	0
<b>課題抽出&amp;解決推進WG</b>	55	78	111	113	98	101	3
サプライチェーンリスク対応SWG	33	38	34	32	28	29	1
情報共有プラットフォームSWG	11	13	14	14	12	12	0
フォレンジック検討SWG ('22.4.28発足)	-	11	13	13	14	15	1
SBOM-SWG	-	-	38	42	42	42	0
用語定義TF ('21.12.3発足)	-	12	13	13	10	10	0
法規動向調査TF ('22.4.21発足)	-	8	8	8	7	10	3
課題検討TF('23.8.28発足)	-	-	6	6	8	8	0

赤字 ( ) は減少

技術委員会延べ参加人数は、微増致しました。24年度は11のSWGと3つのTF活動を継続中です。活動報告会等を通して、各活動における成果や取組みを紹介することで、会員に、価値・魅力を示し、参加を促すことで持続的な活動としていきます。

以下に24年度の活動計画と実績（太枠内が3Qの実績）、トピック報告を記載します。

## 1. 24 年度活動計画と実績報告

### 1) 24 年度活動計画

**表 2 24 年度実施項目**

実施項目
1) 技術委員会の戦略策定 業界に必要なサイバーセキュリティ対応能力の強化に向けた戦略の策定
2) 成果物の発行 技術委員会傘下 11 の SWG と 3 つの TF 活動を通じて参加会員の活発な意見交換やナレッジ共有を継続すると共に参加各社のサイバーセキュリティ対応能力の強化に貢献出来る成果物の発行

本計画（実施項目）に基づき、具体的な目標と取り組み方策を明確にして実行し、技術委員会活動をさらに発展させていきます。

### 2) 技術委員会活動成果物、社外発表等活動の報告

**表 3 活動成果物一覧（発行成果物と発行予定）**

時期	成果物
2024 年 5 月	・技術委員会マニュアル V1.00 ・第 3 回技術委員会活動報告会（各 SWG 活動報告書）
2024 年 6 月	・JAMA/JSAE/JASPAR との MOU 締結
2024 年 7 月	・第 3 回協同演習の開催（@2024.7.5）
2024 年 9 月	・インシデント事例分析レポート#1 ・協同演習結果速報
2024 年 10 月	・Auto-ISAC Cybersecurity Summit2024 レポート ・JASPAR との NDA 締結
2024 年 12 月	・インシデント分析技術レポートフォーマット ・協同演習結果レポート ・第 4 回技術委員会活動報告会 Part1（各 SWG 活動報告書） ・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティの取り組み（一般公開） ・用語集（一般公開）
2025 年 1 月	・インシデント事例分析レポート#2 ・US との情報共有の在り方の提案
2025 年 2 月	・脆弱性分析レポート#2 ・スキルチェックシート V2.0 ・第 4 回技術委員会活動報告会 Part2（各 SWG 活動報告書）
2025 年 3 月	・脆弱性対応（状況共有）テンプレート（TLP:GREEN 化） ・初学者の虎の巻（初めてのクルマのサイバーセキュリティ） ・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ取り組みガイド（補足文書） ・デジタルフォレンジックの概要（IT とコネクティッドビークルの相違点） ・技術委員会 中長期計画 ・技術委員会活動ロードマップ ・SBOM ガイド（初版）

**表 4 社外発表等の活動実績一覧**

時期	外部講演、セミナー関係
2024年5月	・第3回技術委員会活動報告会
2024年6月	・第7回 J-Auto-ISAC 定時総会（会員・社員総会） ・第34回 ReVision ウェビナー「SDV時代のサイバー・セキュリティに求められる対応とは」
2024年8月	・JSAE 自動車サイバーセキュリティ講座 2024「自動車セキュリティ概論」「自動車における脆弱性ハンドリングとインシデント対応」
2024年10月	・Auto-ISAC Cybersecurity Summit2024(@北米 Auto-ISAC)
2024年11月	・Automotive Software Expo (@Edge Tech+2024)
2024年12月	・第4回技術委員会活動報告会 Part1

24年度も成果物の社内外への展開と、外部講演やセミナー等による積極的な発信を積み重ねていきます。

## 2. 【トピック報告】第4回活動報告会 Part 1（'24/12月分）

### 1) 目的・背景

SWG 活動の成果物、情報の共有を目的に、23年度から年間2回のイベントとして「技術委員会 活動報告会」を開催しています。今年度の活動報告会は、前回から技術委員会の活動全体像や各 SWG の関係性、成果物に関する詳細説明（成果物発表）、更に各 WG/SWG の本年度の活動内容と目標に焦点をあてた構成としました。

第4回活動報告会：2024年12月10日（火）@品川フロントビル

### 2) 内容（資料については技術委員会内で公開中）

- ① 法規・標準動向調査 TF（調査結果報告）
- ② グローバル連携 SWG（活動概要）
- ③ Auto-ISAC 活動紹介（北米 Auto-ISAC を招待講演）
- ④ 情報共有プラットフォーム SWG（活動概要）
- ⑤ フォレンジック検討 SWG（活動概要）
- ⑥ セキュリティ人材育成 SWG（活動概要）
- ⑦ ベストプラクティス策定 SWG（活動概要）
- ⑧ 個別研修 SWG（活動概要）
- ⑨ サプライチェーンリスク対応 SWG（成果物紹介）
- ⑩ 脆弱性対応 SWG（活動概要）

⑪ インシデント事例検証 SWG（活動概要）

3) Part2 及びアンケート結果分析について

活動報告会 Part2 が 2025 年 2 月 5 日（水）に予定されています（SBOM-SWG、協同演習 SWG、課題検討 TF）。今後、Part1、Part2 それぞれのアンケート結果を集約し、これまでの改善活動の成果を確認すると共に、新たな課題の確認、継続的な改善活動にて、活動報告会を更に充実させ、J-Auto-ISAC 技術委員会の価値を示し、会員増加に繋げていきます。

以上

## 【第3章】サポートセンターからの活動報告

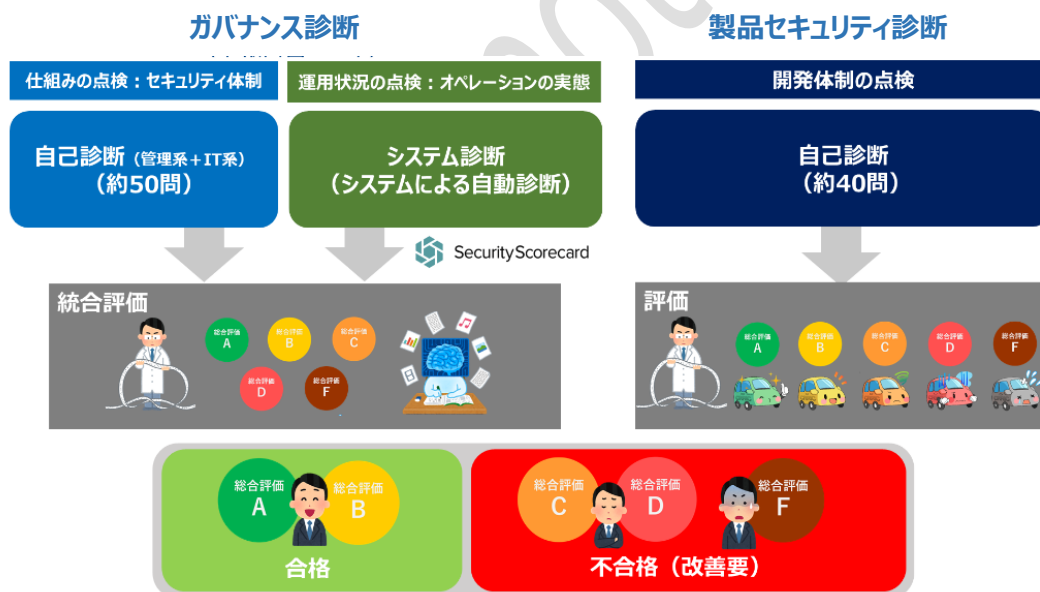
### 1. 「サイバーセキュリティ診断」について

#### <概要>

J-Auto-ISACでは、コネクテッドカーに関わるインシデント情報や脅威・脆弱性情報が会員間で共有されます。また活動の中で、他社の未公開情報に触れる機会もあります。そこで当センターでは会員が相互に安全に、かつ安心して情報を共有できる“基盤づくり”の一環として「サイバーセキュリティ診断（簡易版）」を無償で実施しています。（一部の会員種別は除く）

サイバーセキュリティ診断は「ガバナンス診断」と「製品セキュリティ診断」で構成され、「ガバナンス診断」では、情報セキュリティに関する規程や推進体制といった仕組みの整備状況を問う「自己診断」に加えて、専用プログラムによる「システム診断」によって総合的に評価して合否判定します。

また「製品セキュリティ診断」では、コネクテッドカー開発体制の整備状況を評価して合否を判定します。

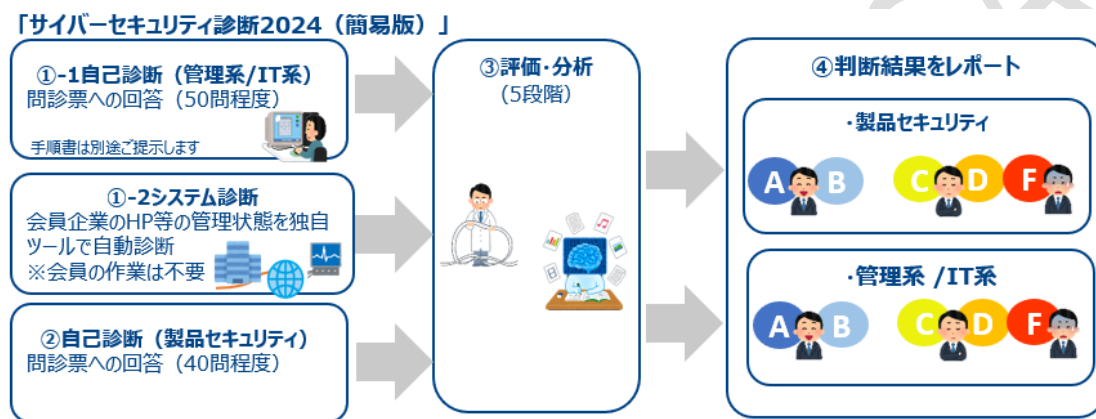




## ＜本年度の診断について＞

「ガバナンス診断」の内、「自己診断」については、まず新規入会時に、その後も定期的実施しています。「システム診断」については、要求されるセキュリティ要件が随時変化すること、また昨今のASM（Attack Surface Management）が重視される傾向も踏まえて、毎年全ての会員\*を対象に診断しています。「製品セキュリティ診断」は、新たに入会した会員と、前年度Cランク以下と診断された会員を対象に実施しています。本年度は8月に案内メールを送り、10月以降、順次診断書を送付しました。

（\*学術・サポート・賛助の会員および一部のOEMは対象外です）



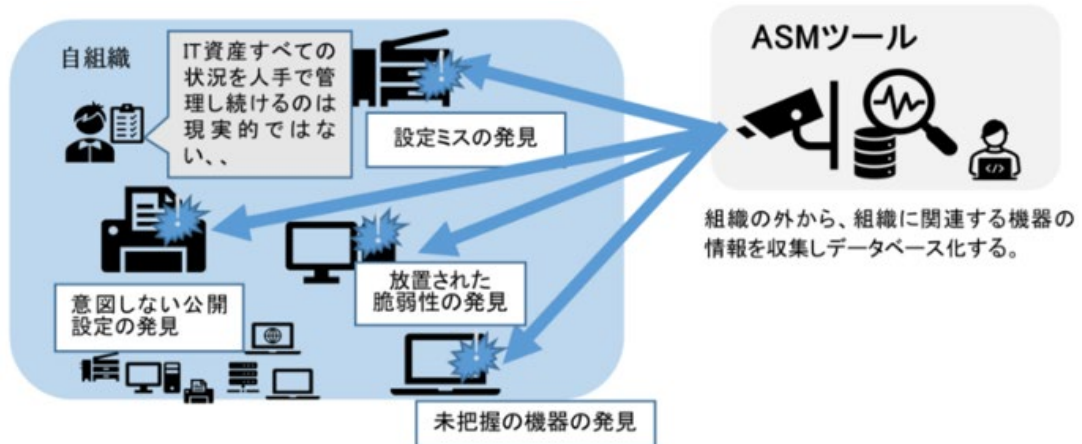
## ＜本年度のシステム診断結果＞

今回は、本年度に実施したシステム診断の結果について述べます。

システム診断では、最新のASMツールを用いて、会員企業の資産について脆弱性や設定の不備等を確認します。ASMツールは、昨今のサイバー攻撃の変化に対応して、システムの診断内容がアップデートされているため、対策を見直していない会員の診断結果は前年度より下がっています。本年度の診断結果では、特に不合格となった会員の割合が大きく増加しています。これは脆弱性対策が不十分のまま放置されていることが原因であると考えます。定期的に見直すことの重要性を痛感する結果となりました。

なお、サポートセンターでは、診断結果を分かり易くレポートにまとめて会員企業に返すとともに、課題のある会員には、個別ヒアリングとアドバイスを実施しています。

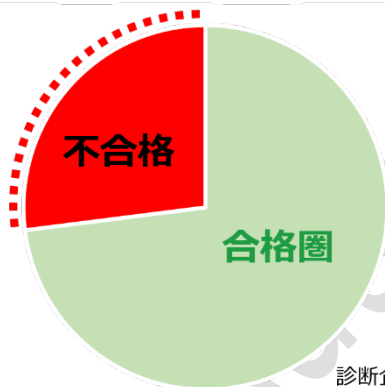
## システム診断 : Attack Surface Management の特徴とイメージ



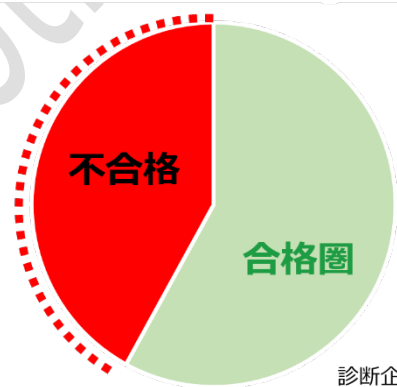
出典：経産省 2023年5月29日 ニュースリリース より  
<https://www.meti.go.jp/press/2023/05/20230529001/20230529001.html>

## システム診断（会員企業別のランク内訳）

### 前年度の診断結果



### 本年度の診断結果



## 2. 「お困りごと相談室」を定期開催

2023年10月より、開始した「よろず相談会」は、2024年度からは「お困りごと相談室」へ名称を改め、フリーテーマで毎月開催しています。

2024年の実施スケジュール

	2024年									2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	17日	29日	29日	17日	28日	25日	30日	27日	25日	実施予定	実施予定	実施予定
										実施済 →	実施予定 →	実施予定 →

### <実施状況>

3Q以降、「お困りごと相談室」の認知度が向上し参加会員が増え、活発な議論が展開されるようになりました。

J-Auto-ISAC内の活動に関する事や、自社内の取り組みにおいて抱えているお悩み、自動車業界の動向についてなど幅広い内容でご相談をいただいています。

#### 【参加された方からの生の声】

- ・「悩んでいた事がクリアになって良かった」
- ・「他の参加者とも意見交換ができて良かった」
- ・「毎回参加するわけではないが、定期的開催されているなら、また参加したいので継続してほしい」

自社内の活動だけでは難しく感じている課題や問題など多くのご相談をいただけるようになりました。参加メンバーの持ち得る様々な知見や情報を共有する事で、自由で活発な意見交換の場となっております。

なお現在はオンライン会議が主ですが、面着でのご相談も可能です。かしこまった雰囲気はなくフレンドリーで気軽に発言が出来ますので、会員同士のコミュニケーションの場としてもご活用ください。

## これまでに寄せいただいた相談

主な相談内容	相談会での対応	参加企業のご感想
ISMSとCSMSの重なる部分の取り組みについて、意見交換をしたい	・ワークショップ的に意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者目線での相談ができた</li> <li>・他の会員と意見交換をすることで理解が深まった</li> <li>・小グループで相談しやすかった</li> <li>・今後も継続してほしい</li> <li>・マンツーマンで相談できる場もあると良い</li> <li>・定期的な開催を希望</li> <li>・面着で相談できる場もあると良い</li> <li>・今後の取り組みにおいて良いアイデアを貰った</li> <li>・何でも相談できる場があるのはありがたい</li> </ul>
レベル3の項目の妥当性や達成時期を教えてください	・意見交換を実施	
設問の解釈や回答内容の妥当性をチェックしたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社でも回答者によってブレる</li> <li>・取引先の回答のブレを無くしたい</li> <li>→パートナー企業のソリューションを紹介</li> </ul>	
自社の判断が正しいか確認したい 設問の理解度、回答の制度を高めたい	・ワークショップ的に意見交換	
脆弱性情報を効率的に分析・仕分けする方法	・ワークショップ的に意見交換	
SIRTを組織する際の責任範囲などSIRT全般に関する意見交換をしたい	・意見交換を実施	
SOCから配信されている脆弱性情報に関する意見交換をしたい	・意見交換を実施	
申込手続きや問合せ窓口の確認など、J-Auto-ISAC内の事務手続き全般について教えて欲しい	・各種手続きについてサポート	
技術委員会の活動にある各SWGへの参加を検討しているが、不明点を解消したく相談したい	・技術委員会メンバーにオブザーバー参加いただき、意見交換を実施	
製品セキュリティに関するカイゼンを組織内でスムーズに運用するための意見交換をしたい	・意見交換を実施	
サプライヤのセキュリティ対応の取り組み状況について意見交換をしたい	・意見交換を実施	
CRAに対する業界動向や他社の状況について相談したい	・意見交換を実施	
ソフトウェアOTAに関する業界の取り組み状況を教えてください	・意見交換を実施	
AIの活用に関する意見交換をしたい	・ワークショップ的に意見交換	

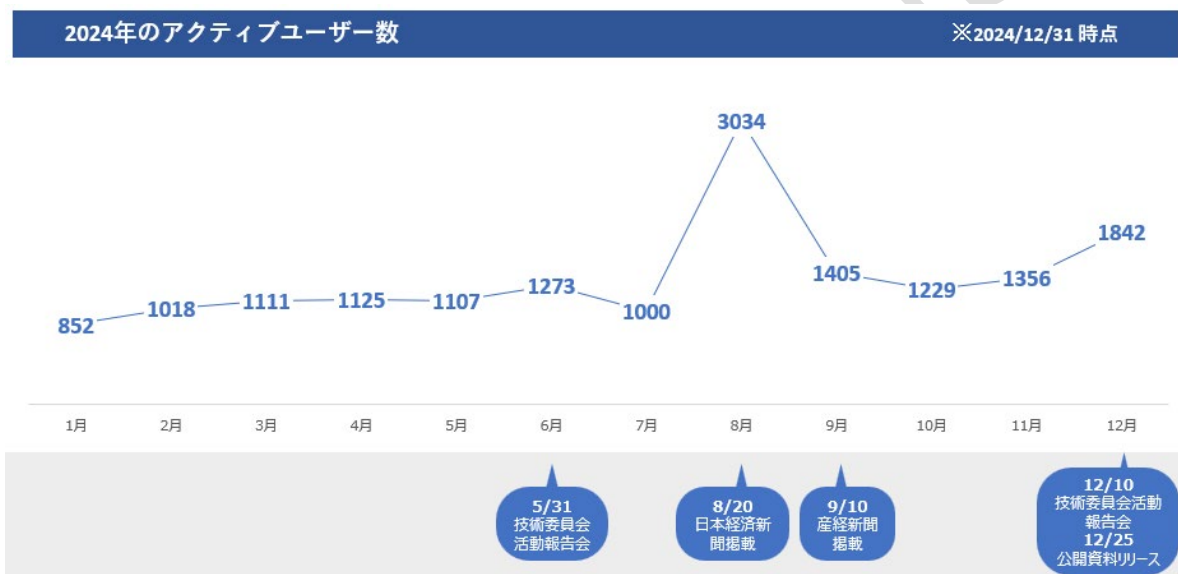
### 3. ホームページの魅力度向上

ホームページの魅力度向上に向けて、新しいコンテンツの掲載や内容の強化、レイアウトの変更にも努めています。

外部セミナーへの登壇機会や新聞等のメディア露出の機会も増えており、毎月平均 1,000 人を超えるアクセス数となり、直近の 12 月では 1800 人超のアクセスがありました。

さらにアクセス状況を分析して、コンテンツへの円滑なアクセスを実現し、ホームページの魅力度向上に繋がる取り組みを進めていきます。

#### トップページのアクセス数推移



また、本年度では組織外の方々へ J-Auto-ISAC に所属する会員のリアルな声をお届けすべく、「会員の声」の掲載に力を入れており、来期も掲載追加を予定しております。今後も会員企業の声を通して J-Auto-ISAC の魅力を発信していきます。

以上

## 【第4章】SOC（セキュリティオペレーションセンター）からの活動報告

### 1. 2024年度 第3四半期の概要

#### 1) 脅威・脆弱性情報の報告件数

2024年10月から12月の92日間で提供された週次情報レポートの件数は、合計91件でした。その内訳は図1に示されています。脅威・脆弱性情報の報告件数は、2024年度の第2四半期と比較して、若干減少しています。

なお、引き続き車両に関連する新たな重大な脅威・脆弱性情報やインシデントの発生はありませんでした。

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 脅威・脆弱性情報 | 60件 |
| ② 業界動向情報   | 31件 |

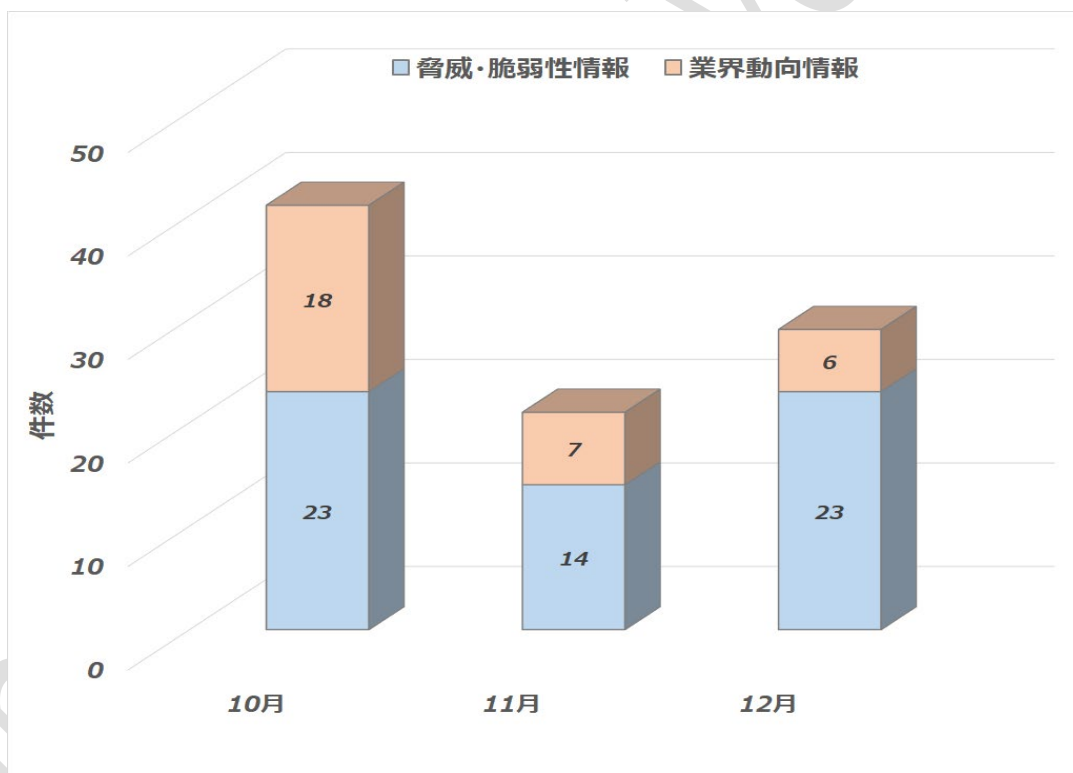


図1 週次情報レポート 提供件数

※脅威・脆弱性情報件数は、自動車に係わる情報のみであり、かつ同一案件を除く

## 2) 脅威・脆弱性情報レベル

第3四半期に報告された脅威・脆弱性情報を分類すると、図2の通りになります。要注意情報の件数は平均で月に13件でした。これは、2024年度の第2四半期と比較するとほぼ同等です。

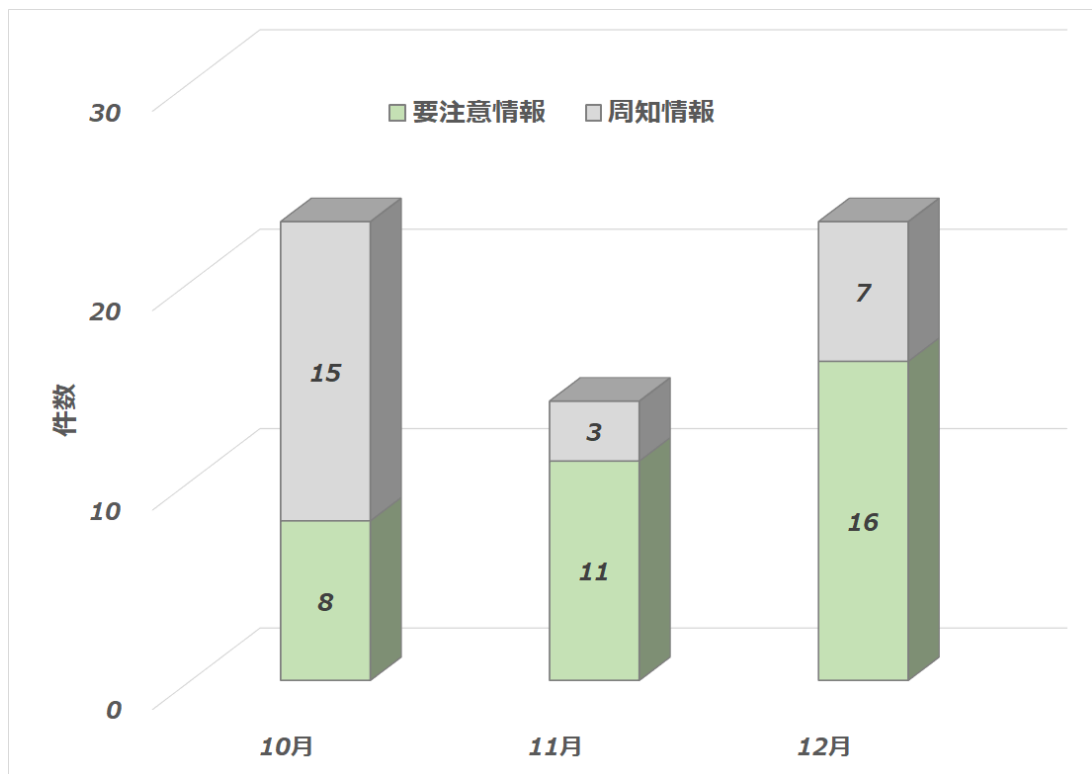


図2 脅威・脆弱性情報 レベル別件数

### <参考>

※1.要注意情報：

自動車への関連性があるが影響度・攻撃可能性が高くない脅威・脆弱性情報

※2.周知情報：

注意すべきセキュリティニュースなど動向として認識すべき情報

※3.重大情報：

自動車への関連性があり、かつ影響度・攻撃可能性が高い脅威・脆弱性情報



## 2. 自動車メーカーに係る脅威・脆弱性情報

2024年10月から12月に報告した脅威・脆弱性情報のなかで、自動車メーカーに関する案件は、図3に示されています。この期間においては、Tesla 関連の案件が少ないことがわかります。また、中国の自動車メーカーに関する案件が検出されており、引き続き監視を強化していきます。

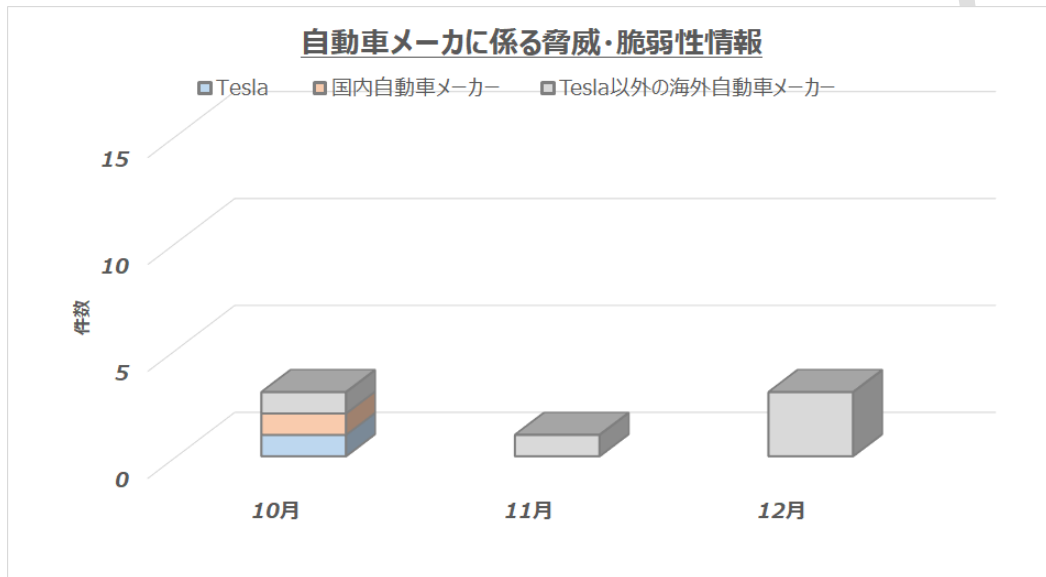


図3 自動車メーカーに係る件数

## 3. 脅威・脆弱性情報の攻撃対象分類

脅威・脆弱性情報を攻撃対象別に分類した結果は図4に示されています。インフォテインメントシステムを攻撃ターゲットとした情報の比率は2021年の情報提供からあまり変わっていません。最近では、ADASをターゲットとした情報が増加傾向にあります。自動運転の開発が活発化するにつれて、攻撃ターゲットにされることが増加すると予測されるため、今後も引き続き、攻撃の傾向を理解することが重要です。



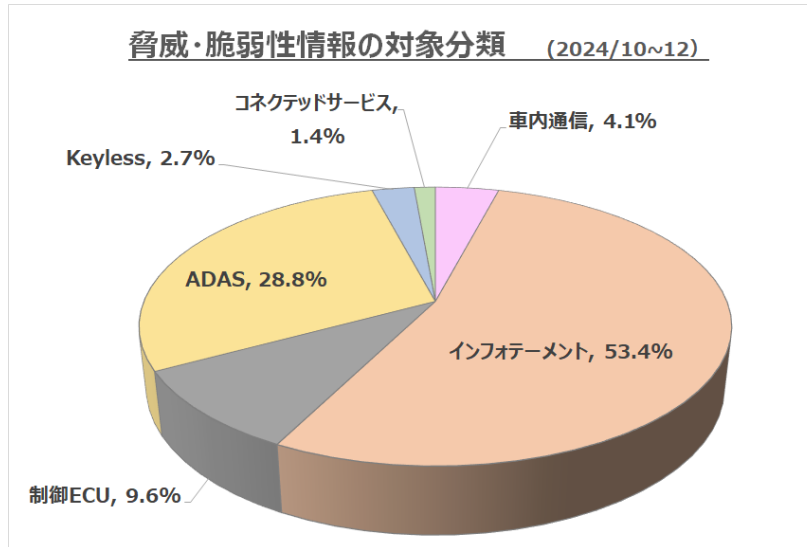


図 4 脅威・脆弱性情報の攻撃対象分類

以上



**一般社団法人 Japan Automotive ISAC**

**〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティA棟 28 階**

e-mail : [info@j-auto-isac.or.jp](mailto:info@j-auto-isac.or.jp)

<https://j-auto-isac.or.jp/>